

2026 年6月 16 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

FPSO Baobab Ivoirien、ライフエクステンションおよび改修工事を経て安全に生産を再開

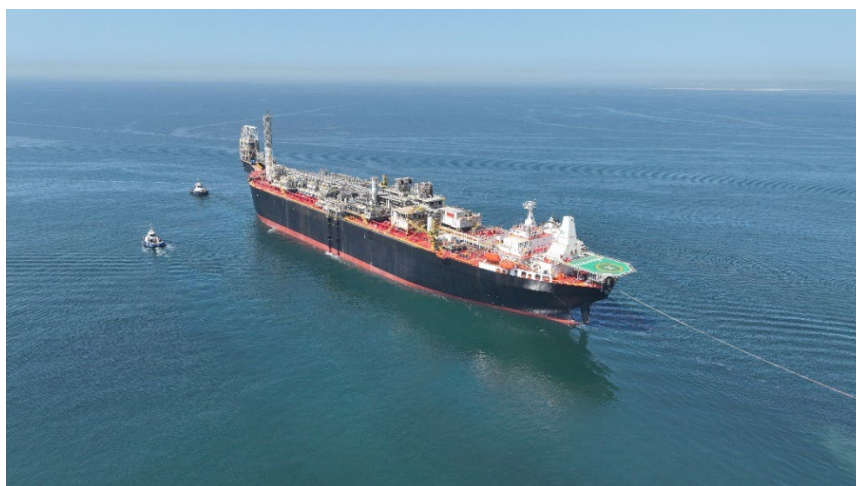
三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役 社長執行役員:宮田 裕彦)は、FPSO Baobab Ivoirien がドバイでの大規模なライフエクステンション(寿命延長)および改修工事を経て、2026 年 6 月 4 日に生産を再開したことをお知らせいたします。

コートジボワールのアビジャンから南西の沖合約 65 km に位置する Baobab 油田にて稼働する本 FPSO は、耐用年数の延伸および長期的な運用性の向上を目的とした包括的な改修工事を実施しました。

当社は本件の実行を統括し、延べ 670 万時間超の労働時間を休業災害 (LTI: Lost Time Injury) ゼロで完工し、計画通りにクライアントである CNR International (Cote d'Ivoire) S.A.R.L. (以下「CNR 社」)へ引き渡しました。

ドバイでの工事完了後、本 FPSO はコートジボワールへ回航され、油田での再接続・試運転を行い、生産を再開しました。今回の生産再開は、この複雑な改修プロジェクトの成功の証であり、Baobab 油田の新たなフェーズの幕開けを示すものです。

なお、当社は 2025 年 2 月に本 FPSO の所有権を CNR 社に売却し、同社とのチャーター契約を終了しました。これに伴い本 FPSO は「FPSO Baobab Ivoirien」に改称されております。当社は現在、2026 年 12 月までの予定で本 FPSO の O&M(Operation & Maintenance: 運転・保守)サービスを継続しています。



FPSO Baobab Ivoirien



三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、海洋エネルギー分野における浮体式生産設備の提供で世界有数の企業です。FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)をはじめ、設計・調達・建造・据付 (EPCI) サービスを提供するとともに、FPSO の保有・運転も行い、世界各地で総合的かつ競争力のある生産設備の提供と運転を担っています。SOFEC® Mooring Solutions は MODEC の製品ブランドであり、オフショアエネルギー分野に安全性・信頼性・革新性に優れた係留システムを提供しています。

<https://www.modec.com/jp>